



| | | | |
|---|---------|--------------------------|--|
| 【業態】 | 自治体 | 【テーマ】 | 町有林の森林経営 |
| 【実施地域】 | 北海道 | | |
| 【メリット】 クレジット売買益、温暖化対策のPR効果（差別化）、ネットワーク構築（地域活性化） | | | |
| 【創出者】 | 中標津町 | ◆格子状防風林 |  |
| <p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中標津町町有林のうち格子状防風林の一部について、毎年、間伐や植栽を実施しています。 ・クレジット販売で得られた資金を更なる間伐や植栽費用とし、取組んでいます。 ・森林の健全育成を図り、CO2吸収量を高め、地球温暖化防止に寄与すると共にシマフクロウなどの希少野生生物の生息環境保全を図ることを目的としています。 <p>【実施後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中標津町町有林をJ-クレジット制度の対象としたことにより、恵まれた自然環境を今までと違った視点でPRにつなげることができた。 ・クレジット売買益の有効活用にも取り組んでいく。 <p>【クレジット情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J-クレジット ・方法論：FO-001(森林経営活動) ・吸収量見込み量：約500t-CO2/年 | ◆防風林の様子 | ◆希少野生生物の保護にも努めます（シマフクロウ） |  |
| 出典：「J-クレジット制度」ウェブサイト 2015年12月時点 | | | |

| | | | |
|---|--------------------------|-------|--|
| 【業態】 | 自治体 | 【テーマ】 | 森林管理プロジェクト |
| 【実施地域】 | 宮城県 | | |
| 【メリット】 クレジット売買益、暖化対策のPR効果（差別化）、ネットワーク構築（地域活性化） | | | |
| 【創出者】 | 登米市市有林間伐促進 森林吸収プロジェクト | | |
| <p>【取組概要】</p> <p>平成21~23年度にわたって市有林164haの間伐を実施し、これまでに3,812t-CO2のオフセット・クレジット(J-VER)認証を受けました。将来へ向けた持続的な森林整備を推進し、地域林業の活性化を図ると共に地球温暖化の防止につなげることを目的として、本プロジェクトを実施しています。</p> | | |  |

| | |
|---|---|
| 【業態】 自治体 | 【テーマ】 森林管理プロジェクト |
| 【実施地域】 福島県 | |
| 【メリット】 クレジット売買益、暖化対策のPR効果（差別化）、ネットワーク構築（地域活性化） | |
| 【創出者】 喜多方市 J-VER森林整備加速化プロジェクト |   |
| 【取組概要】 平成22～23年度にわたって市有林62.4haの間伐を実施し、これまでに710t-CO2のオフセット・クレジット(J-VER)を販売しました。また、間伐実施の際に、林地に材を放置するのではなく、間伐材を搬出するための路網整備を実施し、搬出可能な場所においては、搬出した間伐材を燃料用チップなどとして利活用を図ることで、循環型社会の形成を目指しています。 | |